

## [2013/2014]九州大学附属図書館年報

<https://hdl.handle.net/2324/1810687>

---

出版情報：九州大学附属図書館年報. 2013/2014, pp.1-, 2014-06. 九州大学附属図書館  
バージョン：  
権利関係：

# KYUSHU UNIVERSITY LIBRARY

Annual Report 2013/2014

九州大学附属図書館年報 2013/2014



# CONTENTS もくじ

Topics .....	3
展示会・講演会 .....	7
国際交流 .....	10
利用説明会・講習会 .....	11
新規コレクション・電子化コンテンツ .....	12
研究開発室 .....	13
職員研修 .....	14
統計 .....	15
附属図書館の組織 .....	21
人事異動 .....	23
出版物／貴重資料の学外展示・掲載・放映 ..	24
図書館日誌 .....	25





附属図書館長  
川本 芳昭

## はじめに

昨年度の本館では将来に向けての貴重な成果が達成されるとともに、活発な動きがありました。そうした中であって国語学関係の書籍を中心とした春日政治・和男氏の旧蔵にかかる貴重書群を本学が所蔵できるようになったことは一大慶事としてまずご紹介したいと思います。同文庫は、金光明最勝王経(十帙)、無量義経説法品第二紺紙金泥写経(平家納経の一部)、慶長勅版職原抄(上下二冊合本)、尊氏願経(足利尊氏署名有)などの稀覯本が含まれる極めて貴重な書籍群です。なかでも奈良時代の写本と考えられる金光明最勝王経には、胡粉で記した平安時代の訓点が生かされており、単に仏教史、国家思想など思想史の分野のみならず、古代日本語の有り様さえもうかがわせる国宝級の稀覯本ということが出来ます。ここに至るまでご尽力頂いた諸兄姉に対し、この場をかりて深甚の謝意を表す次第でございます。

昨年度はまた、本館が所蔵していた蔵書・文書群の中から『背振山塚図』、夢野久作初期自筆原稿、北魏墓誌の拓本群、突厥オルホン碑文拓本なども再発見の形で確認することが出来ました。新図書館への移転を控え、こうした貴重書の整理・公開の必要性を痛感しているところです。

昨年来の出来事として、上で述べました春日政治・和男文庫収蔵と並ぶものとして特記すべきことは、25年度補正予算が措置され、新中央図書館の一部が「国際化拠点図書館」として整備されることとなったことがあげられます。本館では、第二期中期計画の初年度にあたる22年度より新中央図書館の検討を本格的にすすめておりますが、この予算措置により第1期整備として、自動書庫などを含む新中央図書館全体の約3分の1の建設が26年度中に開始されることとなりました。

新中央図書館は、伊都キャンパスの国際連携ゾーンの中心に位置することとなり、キャンパスの国際化をささえる拠点施設として、九州大学が目指すグローバル化の一翼を担うこととなります。閲覧スペースと百数十万冊の開架収蔵スペース、貴重書庫、膨大な地域記録資料を所蔵する付設記録資料館が第2期整備として続けて建設される予定であり、第2期整備完成をもって本館は西日本およびアジアにおける学術情報拠点としての姿を現すことになるであります。

昨年度は教育の質向上支援プログラム(EEP)「大学図書館による自律的学修支援体制の構築」も進行しました。また、第99回全国図書館大会が福岡で開催され、本館もその主力メンバーとして大いに活躍しました。

さらに、昨年12月、本館が提供するWebサービスをリニューアルしたこともご報告申し上げる成果の一つです。このサービスによって「世界の文献」と「九大コレクション」の2種類の検索インターフェースを中心に構成された多言語対応のWebサイトがリリースされました。

九州大学図書館では、このように将来に向けてのハード、ソフト面での整備が着々と進みつつあります。私はこの点で本館の将来を極めて明るいものとして展望しております。一方、日本のみならず世界において知の貧困、教養の劣化が言われるようになって久しいものがあります。上述のようなハード、ソフトの充実とともに、「九大百年」が培ってきた知の伝統、精神の内実がまた一方で強固に護られねばならないこともまた私たちは肝に銘じておくべきであります。

# Topics

## 国際化拠点図書館(新中央図書館)の整備

附属図書館では、第二期中期計画の初年度にあたる22年度より新中央図書館の検討を本格的に進めてきましたが、25年度補正予算が措置され、新中央図書館の一部が「国際化拠点図書館」として整備されることとなりました。

今回の予算措置による建設範囲は、アクティブラーニングスペース、付設教材開発センター、自動書庫を含む新中央図書館全体の北側約3分の1にあたり、第1期整備として26年度中に整備が始まります。

新中央図書館は、伊都キャンパスの国際連携ゾーンを中心に位置しており、教材開発センターによる英語での授業の支援、アクティブラーニン

グスペースで展開される日本人学生と留学生の多様なコラボレーション、関係各部署と連携した留学生や日本人学生の留学支援などを通じ、キャンパスの国際化をささえる拠点施設として、九州大学が目指すグローバル化社会を担うリーダーの育成を支援します。

なお、閲覧スペースと百数十万冊の開架収蔵スペース、貴重書庫、膨大な地域記録資料を所蔵する付設記録資料館が第2期整備として続けて建設される予定であり、第2期整備完成をもって西日本およびアジアにおける学術情報拠点としての新中央図書館が完成することとなります。



## Webサービスリニューアル

25年12月、附属図書館が提供するWebサービスをリニューアルしました。

### ●新しいWebプラットフォーム

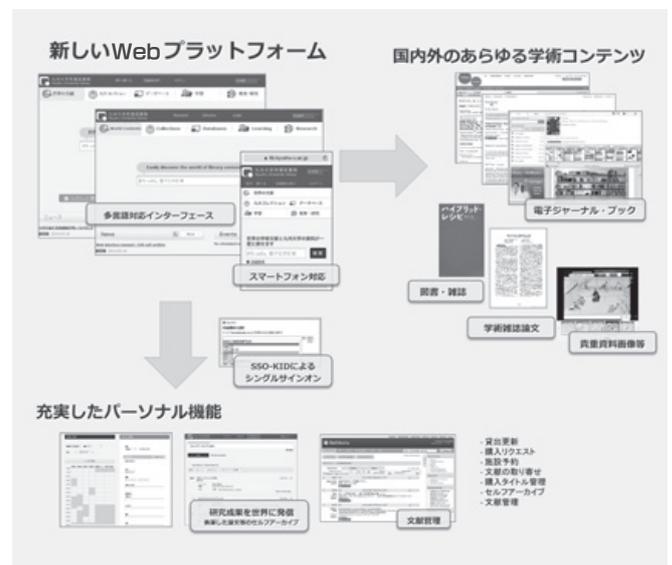
「世界の文献」と「九大コレクション」の2種類の検索インタフェースを中心に構成された多言語(日本語・英語)対応のWebサイトをリリースしました。タブレットやスマートフォンでの表示にも対応しています。

「世界の文献(旧称Cute.Search)」は、膨大な情報の中から、学習・教育・研究に必要なものを瞬時に発見し、アクセスできることを目的としたサービスで、多様なデータベースに収録された情報の統合検索が可能です。

「九大コレクション(旧称Cute.Catalog)」では、従来は別々に提供していた複数のデータベースの情報を統合し、九大が所蔵・管理する図書・雑誌・電子ジャーナル・電子ブック・学術雑誌論文・貴重資料画像等を包括的に検索できるようになりました。

### ●充実したパーソナル機能

貸出更新や文献取り寄せ等をWeb上から手続きできるパーソナル機能が充実しました。図書館Webサイト上から、SSO-KIDまたは学生IDでログインして利用できます。



## 教育の質向上支援プログラム(EEP)「大学図書館による自律的学修支援体制の構築」

23~24年度の「ICTによる自律的学習・教育体制の構築」プロジェクトを引き継ぎ、25年度より2年間のプロジェクトとして新たに「大学図書館による自律的学修支援体制の構築」が教育の質向上支援プログラム(EEP)に採択され、統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻および付設教材開発センターとともに様々な取組を進めています。

全3回の職員研修や、海外のライブラリアンを招いてのワークショップを企画、実施する他、他大学を訪問し、ラーニング・commonsの整備やライティング支援の状況を調査しています。26年度は、基幹教育院等、関連部局との連携を深めながら、取組を発展させていく予定です。



Cuterの活動

### ● 図書館学習サポーターCute.Supporters(愛称Cuter)

25年4月より伊都図書館に、さらに10月より喫鳴天空広場Q-Commonsに学習相談デスクを設け、プロジェクト経費で雇用した大学院生(Cuter)が学生からの質問に対応しています。Cuterは、新入生向けガイダンスでの講師や図書館ツアーのガイドを務める他、理学府のサークルと連携して研究内容を伝えるイベントや、本の展示などの企画も実現しました。11月より病院地区でもCuterが活動を始め、医学・歯学などの専門知識や経験を活かしたウェブガイド(Cute.Guides)を作成しています。今後も、Cuterの自律的活動をもとに、学生の目線を取り入れた学修支援を進めていきます。



Cute.Guides

## 新入留学生向け図書館ガイダンス

新入留学生のスタートアップとして、23年度よりフリー参加の図書館ガイダンスや先輩留学生とのランチアワーなどを試みてきましたが、ひとりでも多くの留学生にまずは図書館に来てもらうことを主眼に、25年度は留学生担当各部署と連携し、入学式やオリエンテーション等と組み合わせて図書館ガイダンスを実施しました。主なものは、以下の通りです。

### <図書館ツアー>

新入留学生オリエンテーションのオプションイベントとして、オリエンテーション会場から希望者をそのまま図書館に誘導し、簡単なツアーを実施しました。4月は箱崎キャンパスのみで実施し56名、10月は全キャンパスで実施し147名の留学生が参加しました。

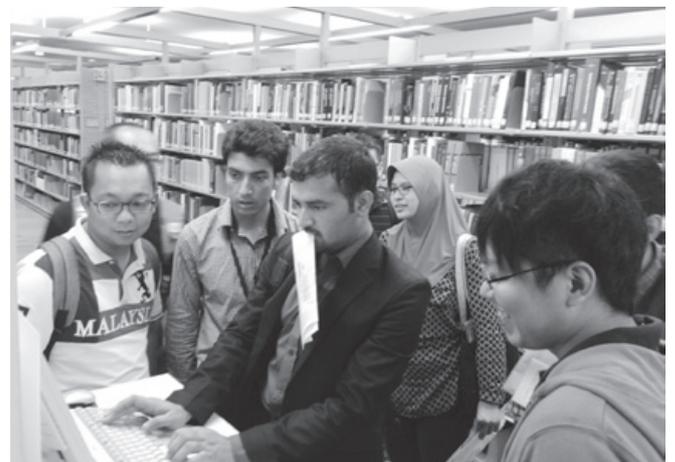
### <部局・プログラム単位でのガイダンス>

学士課程国際コース、短期プログラム、農学部等の新入留学生向けに、それぞれの特性に応じたガイダンス・ツアーを実施しました。

全体の参加者は、4月が113名、10月が338名にのぼり、この数は新入留学生の6~7割をカバーしたことになります。特に中央図書館では2日間で216名の留学生を案内し、館内は国際的な雰囲気になりました。また、Cuterを活用することで、日英だけでなく、中国語で

のツアーも実施でき、大変好評でした。

今後は、このガイダンスを毎年継続的に実施しつつ、さらに、授業と連携したサポートにも注力していきたいと考えています。



Cuter(一番番)による図書館ツアー

# Topics

## 第99回全国図書館大会福岡大会 大学・短大・高専図書館分科会の開催

【日 時】平成25年11月22日(金)  
 【会 場】アクロス福岡 7F会議室  
 【テーマ】図書館の学修支援を考える

25年11月21～22日、日本図書館協会等主催の全国図書館大会が61年ぶりに福岡で開催され、2日目は、大学・短大・高専図書館分科会が下記のとおり実施されました。本分科会は、当館をはじめとする福岡県・佐賀県大学図書館協議会加盟館の職員が運営委員として準備から運営までを行い、全国各地から集まった160名を超える参加者で盛況のうちに終えることができました。

【プログラム】 .....

<午前の部>

基調講演 「これからの人材育成における大学図書館の役割:学習支援を中心に」  
 山田 政寛氏(九州大学基幹教育院准教授)

事例発表1 「自発的学習効果を生む学習環境づくりとその仕組み ～学生の課題探求能力の育成のために」  
 矢崎 美香氏(九州女子大学・九州女子短期大学附属図書館係長)  
 事例発表2 「九州大学附属図書館における学習支援と教育実践」  
 兵藤 健志(九州大学情報システム部専門職員デジタルライブラリ担当)

<午後の部>

事例発表3 「理工系学生(高専生)にむけた図書館活用法」  
 位田 絵美氏(近畿大学産業理工学部准教授、前北九州高専准教授)  
 パネルディスカッション  
 コーディネーター:山田 政寛氏  
 パネラー:矢崎 美香氏、兵藤 健志、位田 絵美氏

<オプション:福岡大学図書館見学>

## 第20回医学図書館研究会・継続教育コース「変化の時代の真っ只中! ～医学図書館の未来を考える～」

【日 時】平成25年11月6日(水)～8日(金)  
 【会 場】九州大学病院キャンパス総合研究棟 2階ITルーム、1階セミナー室105  
 【主 催】日本医学図書館協会  
 【協 賛】日本薬学図書館協議会  
 【参加者】45名

九州大学医学図書館が会員になっている日本医学図書館協会九州・沖縄地区会が当番となって、九州大学病院キャンパス総合研究棟を会場に今回の研究会・継続教育コースを開催しました。

本研究会では、中堅の保健・医療関連図書館員に必要とされる知識及び技術の習得に資することを目的として、8つの演題での発表と活発な質疑応答が行われました。継続教育コースでは、専門職としての保健・医療関連図書館員に必要とされる知識及び技術の研鑽に資することを目的として、2つの講演とパソコン実習形式での文献検索演習が行われました。

【プログラム】 .....

・11月6日(水)

医学図書館研究会(1日目)

- 13:20-13:40 1. 学術雑誌ビジネスの動向2013  
田口宣行氏(埼玉医科大学附属図書館)
- 13:40-14:00 2. 中・長期計画の検証:アウトカムの評価方法確立に向けて  
小林晴子氏、坪内政義氏(愛知医科大学医学情報センター図書館)
- 14:30-14:50 3. 資料と利用者の位置情報を利用したナビゲーションの可能性  
橋本郷史氏(東邦大学医学メディアセンター)
- 14:50-15:10 4. 図書館の学習支援と教員との連携  
山下 桂氏(東京女子医科大学図書館大東分室)
- 15:10-15:30 5. 隠れたニーズを発見する ～京都大学医学図書館の秘書向け講習会および看護師/コメディカル向け講習会について～  
八木澤ちひろ氏(京都大学医学図書館)

16:30-17:00 九州大学附属図書館医学図書館見学会  
 展示会:日本住血吸虫中間宿主発見百周年記念展

・11月7日(木)

医学図書館研究会(2日目)

- 10:00-10:20 6. 認定看護師教育課程で行った文献検索講習の事例  
水江愛子氏、阿部佐和子氏(福岡大学図書館医学分館)
- 10:20-10:40 7. 講習会を超える! ～九州大学附属図書館医学図書館における利用者支援のこれまでとこれから～  
梶原瑠衣、宮嶋舞美、塩田麻実(九州大学医学図書館)
- 10:40-11:00 8. ILL依頼データから見た長崎大学附属図書館医学分館における文献の需要  
松村悠子氏(長崎大学附属図書館医学分館)

継続教育コース(1日目)

コース1

- 13:30-15:00 【講演】「図書館職員のためのインストラクショナル・デザイン活用ワークショップ」  
柴田喜幸氏(産業医科大学産業実務研修センター准教授)
- 15:15-16:45 【講演】「医学・医療系の電子教材作成支援活動における課題と対策」  
吉田素文(九州大学附属図書館副館長・九州大学大学院医学研究院医学教育学教授)

・11月8日(金)

継続教育コース(2日目)

コース2 文献検索演習 中級編「PubMedと医中誌Web」

- 9:30-11:00 PubMed  
阿部信一氏(東京慈恵会医科大学学術情報センター)
- 11:15-12:45 医中誌Webの効果的利用  
大塩稔氏(株式会社サンメディア インデキシング&データベースサーチ)

## 幻の国境線—廣瀨文庫『背振山塚図』

25年11月、中央図書館が所蔵する廣瀨文庫のなかに、現在の福岡県と佐賀県の県境にある背振山における境界を巡って、江戸時代に福岡藩と佐賀藩が争った際に作成された背振山の絵図が所蔵されていることがわかり、注目を集めています。

この『背振山塚図』は、背振山を中心に、福岡藩と佐賀藩双方が主張した国境線等が色分けされて描かれた絵図で、争点となった炭竈跡、畠、金堀跡等の場所も図示されているほか、地名についても両藩で呼称が異なるため、それぞれ色分けされて書き込まれています。幕府の評定所における裁判が始まる前の元禄5年(1692)に、背振山にて福岡藩・佐賀藩双方の関係者が立会い、それぞれの主張を確認していますが、この時参加した両藩の絵師の署名と印が今回の絵図に認められることから、同じ時に作成された絵図の一枚と考えられます。

幕府による裁定の結果、佐賀藩側の主張が認められることとなり、境界は現在でも福岡と佐賀の県境として残っています。福岡藩側の主張した国境線は、後世になりこの争論をまとめた佐賀藩側の史料により推定するしかありませんでした。幕府による裁定が下る以前の係争中に作成された史料自体ほとんど残っておらず、さらに福岡藩関係資料の多くが第二次大戦時の空襲により失われているなかで、この絵図の存在は貴重なものとなります。

『背振山塚図』は、大正14年に廣瀨文庫の一書として附属図書館に寄託された時から様々な地図・絵図類と一緒に纏めにされていたため、研究者

の目に触れる機会がなかったのか、カード目録は作成されていたものの、これまで研究や展示会等で利用された形跡がありません。

比較社会文化研究院の服部英雄教授、高野信治教授等、専門家による調査も行われ、これまでの史料だけでは不明確であった、境界についての双方の主張や係争地の位置が一目でわかる唯一の史料であることが確認され、これほどの貴重な絵図が、身近な九州大学に存在していたことに驚かれておりました。(絵図の電子化についてはp12参照)



『背振山塚図』について説明する服部英雄教授

## 夢野久作『ドグラ・マグラ』初期自筆原稿発見

九州大学附属図書館付設記録資料館に寄託されている杉山家資料の中の、夢野久作(本名杉山泰道)の長男である杉山龍丸関係資料中に、久作の代表作『ドグラ・マグラ』の草稿が含まれていることが、「夢野久作と杉山3代研究会」の会員佐々木孝氏により発見されました。前寄託先である福岡市総合図書館が製作した目録では久作原稿は11編に分類されており、全442枚中406枚が『ドグラ・マグラ』の草稿で、特に小説後半部が纏まった形で残っていました。幾度も改稿を重ねる中で、使用されたいくつかの種類の手紙用紙の中でも、初期に使用されていたと思われる400字詰原稿用紙が289枚も見出され、結末部が完成稿と大きく異なる点が注目されています。



『ドグラ・マグラ』初期自筆原稿

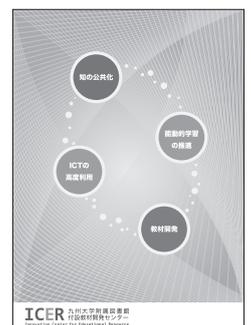
## 付設教材開発センターの活動

教材開発センターは、23年4月に設置されて以降、大学教育の質的向上と効率化を図ることを目的に、教材の開発・制作・提供に係る様々な事業に取り組んでいます。

授業等の録画による講義ビデオ教材の公開や3次元CGを活用した電子教材の開発にも力を注いでいます。26年2月末現在の録画面件数は約1,000件にのぼり、その内、約600件をYouTube、iTunesU、OCW等を通じて一般公開しています。

また、教員の教材制作を支援するため、教材開発技術や著作権等に関する各種講習会も積極的に開催しており、25年12月からは全学FDに位置付けられました。

今後においては、関連部局等との連携を深め、MOOCs(Massive Open Online Courses)に対応した高品質な教材の制作や英語教材・英語学習教材の開発・制作を通して大学教育の国際化を支援していきます。



# 展示会・講演会 Exhibition & Seminar

## 平成25年度九州大学開学記念行事 第54回附属図書館貴重物展示「建築家の礎—一枚の設計図のために—ロイド・モーガン建築コレクション」

【期 間】平成25年5月10日(金)~5月16日(木) 10:00-17:00

【会 場】九州大学大橋サテライト・ルネット

【主 催】九州大学附属図書館

【来場者】218名

・関連講演会

【日 時】平成25年5月11日(土)

14:00-15:30

【会 場】同2F多目的ホール

【講演者】「建築家ロイド・モーガンと

建築デザイン」

片野 博(九州大学名誉教授)

【来場者】48名



54回目を数える今回の貴重物展示では、初めて芸術工学図書館所蔵のコレクションを取り上げ、九州大学大橋サテライト(西鉄大橋駅前)を会場に開催しました。

展示内容は、「ロイド・モーガン建築コレクション」から、コレクションの概観を掴める資料約30点。なかでもロイド・モーガン自身の手になる設計図面、意匠図の美しさに、多くの来場者から感嘆の声が上がり、「なかなか表にでない図面などを見られて貴重な体験だった」との感想も残されました。また、建築を専攻している学生たちが資料を1点1点、熱心に見入っている姿が印象的でした。11日に行なわれた講演会では、古典建築から近現代建築に至る大きな歴史の流れを辿りながら、展示資料の詳しい解説がなされ、参加者からは「コレクションへの理解がより深まった」との声が聞かれました。

本展示会は、開学記念行事として11日に行われた芸術工学部キャンパス大公開「36個のフシギ体験」の一企画としても位置付けられ、当日は家族連れも多くご来場いただきました。

講演会の動画は、YouTubeの九州大学公式チャンネルで公開しています。

<https://www.youtube.com/user/KyushuUniv>



図書館職員による資料解説



熱心に図面を見る学生

## Library Lovers' キャンペーン2013

【期 間】平成25年10月21日(月)~11月17日(日)

【会 場】各キャンパスの図書館・室

九州地区の大学図書館が合同で実施する「Library Lovers' キャンペーン」。4年目となる25年度は、前年度までをはるかに上回る45大学と1協議会の図書館が参加しました。25年度の参加館合同企画「収穫の秋読書の芋。~九州まるっと収穫祭!~」は、おすすめの本のコメントを募集し、教員からのコメントは芋の葉(栄養分)に、学生からのコメントは芋に見立てて、立派な芋畑に成長させていくもので、本学だけで248個の「芋」が集まり、堂々の収穫量第1位となりました(九州地区全体で1,137個収穫)。

そのほか、以下の本学オリジナルイベントを開催しました。

### ●キャンペーン特製しおり「あなたのデザイン、しおりにします!」

昨年度に引き続き、しおりのデザインを学生から公募し、応募件数37作品の中から、18作品のしおりを各館で配布しました。

### ●ピブリオバトル首都決戦2013九州大学予選会

- ・箱崎キャンパス予選会(10月21日(月)16:30-18:00 於:中央図書館きゅうと commons) 登壇者:11名(2ゲーム実施)、参加者:22名
- ・伊都キャンパス予選会(10月23日(水)13:30-15:00 於:嚶鳴天空広場Q-Commons) 登壇者:5名、参加者:22名

どちらの会場でも白熱したゲームが繰り広げられ、接戦を勝ち抜いた3名の学生を九州北部地区決戦に送り込みました。

### ●本のリユース

キャンペーンの定番となった好評企画。今年も「他の人にも読んでほしい」本の交換場所を設けました。

### ●音楽のタベ ~SPレコード鑑賞会~

大学文書館と共催。福岡県の宝珠山村(現:東峰村)の中学校廃校利用施設「宝珠山小劇場・手仕事舎」が所蔵していた約4万枚のSPレコードの中から、ジャズ、クラシックのレコードと蓄音機をお借りして鑑賞しました(中央図書館:期間中の毎週金曜日、芸術工学図書館:11月5日開催)。

毎週末てくださる方も多く大盛況でした。

### ●九大生協タイアップ企画

- ・大学生協主催「読書マラソン」とのタイアップ  
「読書の芋。」のコメント1個につき、「読書マラソン」のスタンプを1個押印。「読書の芋。」への参加促進となりました。
- ・生協食堂お芋メニューの提供(理農食堂、中央食堂、文系食堂、医系食堂)  
「読書の芋。」にちなんで、さつまいものメニューを提供していただきました。

## 「日本住血吸虫中間宿主発見百周年記念展」

【日 時】平成25年11月1日(金)～12月1日(日)  
 【会 場】医学図書館1階ロビー、2階学習室  
 【主 催】医学図書館及び宮入慶之助記念館  
 【来場者】201名

日本住血吸虫症の制圧に多大な貢献をされた宮入慶之助教授と、助手の鈴木稔が1913年に感染経路を発見してから100年経つのを記念して、地球上からの日本住血吸虫症撲滅を願う気持ちも込めて記念展を



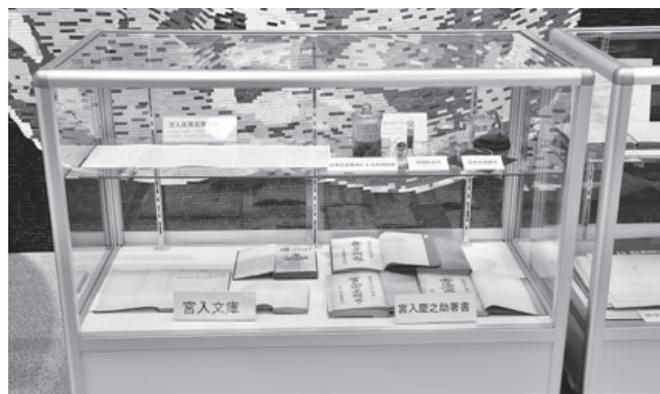
宮入 慶之助



鈴木 稔

開催しました。

2つの展示会場ではミヤイリ貝、日本住血吸虫をはじめ21枚のパネル、宮入先生遺稿、ノート、宮入文庫、書状などが展示されました。来場者には20代の学生も多く、アンケートには、「これまで存在そのものも知らなかった「日本住血吸虫、ミヤイリ貝」について多くを知ることができて勉強になりました」、「未来に残すべき貴重な史実を未来に引き継いで行っていただきたい」等の感想が多く寄せられました。



展示品の一部

## 常設展示

中央図書館2階常設展示コーナーにて、25年度は以下の展示を行いました。

●Islamic Culture —イスラム文化に親しむ—(H25.4.1～5.7)  
 中央図書館での開催は今年で3年目となる、九州大学ムスリム学生会主催「イスラムウィーク」。このイベントに関連してイスラム文化を紹介(学生による企画)。

●シリーズ展示・箱崎キャンパスの近代建築(大学文書館共催)  
 【第1回】戦前の大学風景(H25.5.9～6.30)  
 【第2回】戦争の痕跡／映画の舞台(H25.7.1～8.31)  
 【第3回】学生の集う場所(H25.9.4～10.31)  
 【第4回】最先端の研究の場として(H25.12.6～H26.1.31)

箱崎キャンパスに点在する、百年の歴史を見守ってきた貴重な近代建築物を紹介。「九州大学箱崎キャンパスにおける近代建築物の評価報告書」(九州大学箱崎キャンパスにおける近代建築物の調査ワーキンググループ編、2012年発行)から抜粋して構成し、大学文書館に保管されている近代建築物の設計図面を中心に展示。



●夢野久作と『ドグラ・マグラ』—初期自筆原稿の発見—(附属図書館付設記録資料館共催 H26.2.13～3.31)

付設記録資料館寄託・杉山家資料から、1月初めに発見された『ドグラ・マグラ』初期自筆原稿の一部と、同資料収蔵の夢野久作ゆかりの品を初公開。

●【特別展】九大キャンパスの風景 —桂木勝彦写真展—  
 (H25.8.2～10.31) 於:中央図書館3F回廊

長年にわたり九州大学のキャンパスを撮り続けてきたカメラマン・桂木勝彦氏が撮影した、各キャンパスの四季折々の風景や行事の写真を展示しました。オープンキャンパスで訪れた高校生や、ホームカミングデーで訪れた卒業生もじっくりと鑑賞していました。在学生にとっては自分たちのキャンパスを改めて見直す機会になったようでした。



# 展示会・講演会 Exhibition & Seminar

## 学術情報セミナー「学術情報ビッグバン～学術情報の効率的発見と提供について～」

【日 時】平成25年7月17日(水) 13:00～17:00  
 【会 場】九州大学中央図書館 新館4階視聴覚ホール  
 【主 催】九州大学附属図書館、株式会社サンメディア  
 【後 援】九州地区大学図書館協議会  
 【参加者】64名

すさまじい勢いで増え続ける学術分野での電子リソースは、まさに「情報ビッグバン」と呼ぶにふさわしい様相を呈してきています。そんな中、それらの学術情報資源を効率的に発見し提供できるサービスを実現するための様々な取り組みが行われており、ディスカバリーサービスや国レベルでの電子リソース管理に向けての取り組みもその一端です。本セミナーでは、東北学院大学の佐藤義則教授による今後の学術情報流通の方向性を考察する基調講演のほか、ディスカバリーサービスの導入事例、学術情報サービスの最新事例紹介などを通じ参加者とともに学術情報の効率的な発見と提供について考察しました。

【プログラム】

13:00-13:10 開会  
 13:10-14:10 基調講演「学術情報流通の今後を考える」  
 佐藤義則氏(東北学院大学文学部教授)  
 14:20-14:50 セッション1「学術情報のトレンドと最新情報」  
 (株)カルガー・ジャパン  
 (株)シュプリンガー・ジャパン  
 (株)OUPオックスフォード大学出版局  
 15:00-15:20 講演1「eLibraryがもたらしたインパクト:電子ブックのパワー」  
 石田一郎氏(ProQuest日本支社)  
 15:20-15:40 e-Port UpDate  
 15:50-16:50 セッション2「ディスカバリーサービスの未来を読み解く～Summonの導入事例から～」  
 SerialsSolutions / (株)サンメディア  
 日高友江氏(山口大学情報環境部学術情報課情報サービス係)  
 大谷周平(九州大学附属図書館文系合同図書室)  
 16:50-17:00 閉会

## 講演会「デジタル時代を生き抜く！情報リテラシーの育成」

【日 時】平成25年8月30日(金) 17:00-18:30  
 【会 場】福岡アメリカン・センター  
 【主 催】福岡アメリカン・センター  
 【共 催】九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻、九州大学附属図書館  
 【後 援】福岡県図書館協会、九州地区大学図書館協議会、専門図書館九州地区協議会  
 【参加者】74名

急速に発展する現代の高度情報化社会において、情報の取捨選択・発信・活用する能力、すなわち“情報リテラシー”を身につけることは必須の事柄となっています。本講演では、米国図書館協会のバーバラ・M・ジョーンズ氏をお迎えし、米国での“情報リテラシー”育成の現状や取り組みについてご講演いただきました。また、情報リテラシー能力を使った批判的思考法(Critical Thinking)の活用法やニュースの読み方についてもお話いただき、参加者から多くの質問が寄せられました。

## OCWとオープンエデュケーションに関する講演会

【日 時】平成25年7月23日(火) 16:30-18:30  
 【会 場】箱崎:情報基盤研究開発センター(主会場)  
 伊都:センター1号館(中継)  
 大橋:5号館(中継)  
 【主 催】九州大学附属図書館付設教材開発センター  
 【参加者】62名

教材開発センターでは、マサチューセッツ工科大学(以下MIT)の宮川繁教授をお招きし、高等教育機関において正規に提供された講義および関連情報をインターネット無償公開しているOCW(Open Course Ware)活動等のオープンエデュケーションに関する講演会を開催しました。

OCWは、2001年にアメリカのMITで始まり、現在世界中の大学にその活動が広がっていますが、その活動の中心的役割を担っておられる宮川先生から、OCW立ち上げの経緯、現状、今後の展望等についての説明とともに、最近話題になっている、MOOCs(Massive Open Online Courses)と呼ばれるスタンフォード大学のオープン授業の取り組み事

例等を交えながら分かり易く紹介して頂きました。

本講演会は、箱崎、伊都、大橋の各キャンパスを中継して開催し、62名の参加がありました。学外からも20名の高等教育機関関係者の参加があり、関心の高さがうかがえる講演会でした。



## ワークショップ「アクティブラーナーに向けた学習支援」

【日 時】平成26年2月14日(金) 10:00-17:00  
 【会 場】九州大学 箱崎キャンパス 理系地区 21世紀交流プラザII  
 【主 催】九州大学附属図書館  
 【後 援】九州地区大学図書館協議会  
 【参加者】30名

24年度に図書館間交流協定を締結したイリノイ大学アーバナ・シャンペーン校図書館から情報リテラシー教育を担当するリサ・ヒンチリフ氏を講師にお招きし、学内外の図書館職員を対象にワークショップを行いました。受講生は、6つのグループに分かれて講師の出した課題について考え、発表し合い、アクティブラーニングを体感しながら図書館が大学において学修支援を行なうための基礎となる考え方を身につけました。

### 【プログラム】 .....

- 10:00-12:00 ワークショップ:  
協働や経営的な連携のために、  
図書館を大学全体の優先事項  
と合致させる
- 13:30-15:00 ワークショップ:  
学習支援のための基盤として  
の情報リテラシーと学術情報  
活動
- 15:30-17:00 ワークショップ:  
効果的な教授・学習プログラム  
のためのインストラクショナル  
デザイン



## 交流協定図書館との資料交換(平成25年度)

九州大学 → ソウル大学校 九州大学出版会図書30冊を寄贈  
 九州大学 → 慶北大学校 九州大学発行の紀要14冊を寄贈

ソウル大学校 → 九州大学 ソウル大学出版会図書30冊を受贈

## 海外との往来

### 一来访一

・フロリダ大学図書館  
 【日 程】平成25年7月5日  
 【訪問者】中野 ひかる氏(フロリダ大学図書館)  
 【目 的】フロリダ大学図書館やアメリカの目録事情についての報告・情報交換

・イリノイ大学図書館  
 【日 程】平成26年2月14日  
 【訪問者】Lisa Hinchliffe氏(イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校図書館教授)  
 【目 的】ワークショップ講師として

### 一往訪一

【訪問者】片岡 真(eリソースマネジメント係長)  
 【日 程】平成25年6月25日~6月30日  
 【訪問先】トロント(カナダ)及びシカゴ(アメリカ)  
 【目 的】トロント大学訪問、American Library Association 2013 Annual Conference・XCO Board Meeting 参加

【訪問者】渡邊 由紀子(利用支援課長、准教授)  
 【日 程】平成26年3月3日~3月9日  
 【訪問先】ベルリン(ドイツ)  
 【目 的】iConference 2014に参加(Humboldt-Universität zu Berlin)

【訪問者】北島 光朗(資料サービス係)  
 【日 程】平成26年3月2日~3月9日  
 【訪問先】サンノゼシティ、スタンフォード大学等(アメリカ カリフォルニア州 シリコンバレー)  
 【目 的】第8回QREP(九州大学 ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・プログラム)に係る引率



スタンフォード大学 GREEN LIBRARY

# 利用説明会・講習会 Library Workshops

利用者が学習・研究を行う上で必要な文献や情報を、効率よく探し出し活用できるよう、様々な講習会を開催しています。25年度は、学生や教職員のニーズに沿った目的別の利用説明会を拡充しました。また、昨年

度から継続して、留学生のための英語による講習会の提供、学習科学の知見に基づいた講習会の設計、学生協働による講習会の実践、といった質向上を目指す取り組みも行いました。

## ●利用説明会

データベース提供元からの講師や図書館職員が、それぞれの検索ツールの詳しい使い方を紹介する利用説明会を随時開催しています。25年度は、留学生支援のための英語による利用説明会を継続するとともに、特定の検索ツールに焦点を当てたツール別利用説明会に加えて、受講対象者を明確にした目的別利用説明会を充実させました。

種別	言語	回数	人数
ツール別講習会	日本語	41	512
	英語	8	69
目的別講習会	日本語	26	411
計		75	992

**ツール別** EndNote, Google, JCR, Lexis.com, LexisNexis Academic, Mendeley, PubMed, RefWorks, SciFinder, Scopus, UpToDate, Web of Science, 医中誌Web, 日経NEEDS

**目的別** 調べ方のコツ、新入院生向け文献の探し方、事務職員のための文献入手法、文献の探し方【基本編】、文献の探し方【文系編】、文献の探し方【理系編】、文献調査法、文献管理ツール活用法、文献整理法

## ●オンデマンド講習会

利用者からの要望に応じて、日程、内容等を設定し、図書館職員が講師となって行うものです。ほとんどが授業の一環として行われており、授業と連携した学習・教育支援として重要な活動になっています。英語のみで学位が取得できる国際コースの授業には英語での講習会も提供しています。

対象	回数	人数
経済学部・経済学府	8	152
理学部	1	7
医学部・医学系学府・医学研究院・病院	12	341
歯学部	1	5
薬学部	1	4
農学部・生物資源環境科学府	1	11
農学部・生物資源環境科学府(英語)	4	40
全学教育・21世紀プログラム	4	112
全学教育(英語)	1	23
人間環境学府	2	12
数理学府	1	60
統合新領域学府	2	15
システム情報科学府	1	30
留学生センター	1	17
計	40	829

## ●大学図書館活用セミナー(新入生図書館ガイダンス)

全学教育科目の一つであるコアセミナーの講義時間などを使って、新入生に図書館活用法を案内するもので、18年度から実施しており、ここ数年は毎年約90%の学部新入生が受講しています。25年度は、新入生の学習意欲向上を目指し、動機付けモデル(ARCSモデル)に基づいてガイダンスを設計しました。また、ガイダンス中の講義やツアーなどは学生サポーターと図書館職員が協働で実施しています。

対象	回数	人数	実施率
文学部	10	160	96%
教育学部	1	53	98%
法学部	7	136	57%
経済学部	5	97	38%
理学部	7	296	100%
医学部	4	266	95%
歯学部	1	53	96%
薬学部	1	81	98%
工学部	11	860	99%
芸術工学部	5	206	96%
農学部	7	234	98%
計	59	2,442	89%

## 平成25(2013)年度実績

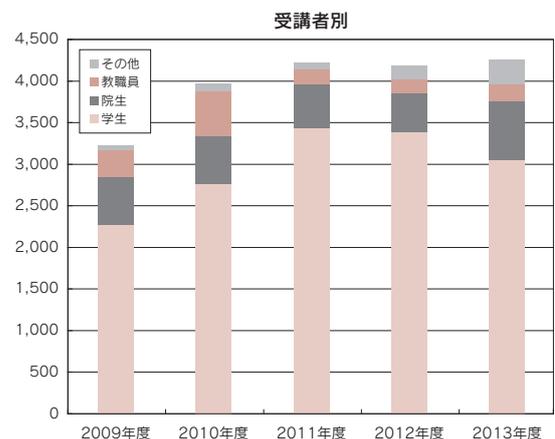
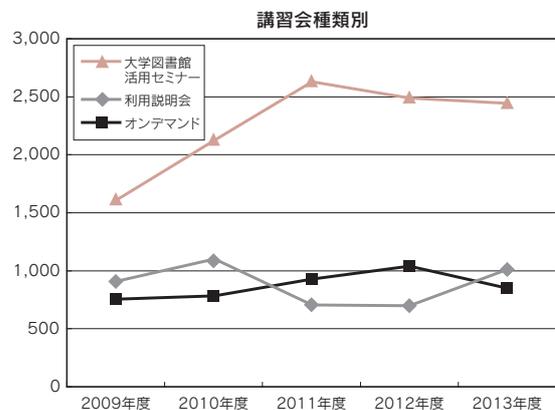
### ●講習会種別

会場	利用説明会		オンデマンド		大学図書館活用セミナー		計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
箱崎(文系・理系)	37	421	17	239	37	976	91	1,636
伊都	13	113	8	233	11	860	32	1,206
病院	20	402	14	350	6	400	40	1,152
大橋	1	12	0	0	5	206	6	218
筑紫	4	44	1	7	0	0	5	51
計	75	992	40	829	59	2,442	174	4,263

### ●受講者別

会場	教職員	院生	学生	学内その他	学外者	計
箱崎(文系・理系)	41	234	1,236	125	0	1,636
伊都	7	155	1,022	22	0	1,206
病院	156	263	580	84	69	1,152
大橋	2	10	206	0	0	218
筑紫	5	41	5	0	0	51
計	211	703	3,049	231	69	4,263

### ■参加者数の推移



## 新規コレクション

### ◆大型図書資料

人文社会科学分野の研究資料の充実のため、大型図書資料として以下の3点を購入しました。

#### ●「マグナ・カルタ」コレクション

マグナ・カルタ(大憲章)は、1215年6月にイングランド王ジョンと貴族達の間で結ばれた協約文書で、その評価の上で重要な位置を占める17～18世紀を中心としたマグナ・カルタに関する著作・史料22点からなっています。

#### ●コミンテルン資料アメリカ共産党文書集

旧ソ連共産党中央文書館に秘蔵されていたコミンテルン機密文書の中

から、アメリカ共産党(CPUSA)中央本部ファイルの全文書をマイクロ化したものです。CPUSA中央本部が収受した文書そのもの、本部から発信した通信文書のカーボン控え、地方組織や下部機関からの報告書、中央本部内部の文書・メモなどが収められています。(マイクロフィルム326リール)

#### ●近現代イギリスの労働環境をめぐる貧困と福祉

産業革命期前後のイギリスの都市・労働者問題への社会的、国家的対応、法整備等をめぐる議論から、その後の社会保障制度、福祉国家構築、再編をめぐる議論までのイギリスにおける貧困、福祉に関する第一級のオリジナル史料コレクションです。(89点)

### ◆寄贈コレクション

本学にご寄贈いただいた主なコレクションを報告します。

#### ●春日政治・和男文庫(中央図書館所蔵)

春日政治・和男両名誉教授の旧蔵書をご寄贈いただき、国語国文学分野を中心とした、学術的価値が非常に高く、全国に誇ることでできるコレクションを本学の蔵書に加えることができました。以下の4点は特に貴重な資料とされます。

##### 1)『金光明最勝王経』十巻完帙入 各巻折り本改装(元は卷子本)

石山寺旧蔵。大乘仏教の経典の一つである金光明経を唐の義浄が漢訳した金光明最勝王経を、奈良時代に書写したもので、平安時代に施された古点の学術的価値が高く、日本語史研究における一級品。

##### 2)『無量義経説法品第二』紺紙金泥写経

大乘仏教の経典の一つである無量義経を、紺紙に金泥で書写したもの。巖島平家納経の一部という極札二通付き。

##### 3)慶長勅版『職原抄』上下二冊合一本

南北朝時代に北畠親房が著した職原抄を、慶長年間に後陽成天皇の勅命によって刊行した木製活字本。

##### 4)『尊氏願経 根本薩婆多部律攝 巻第七』

足利尊氏が、後醍醐天皇や尊氏自身の父母、元弘の乱以後の戦乱で落命した人々の霊を慰め、天下太平と民衆の安穏を祈願して発願書写せしめた一切経のうちの一帖。巻尾の発願文の「尊氏」2字は足利尊氏の自署。



『無量義経説法品第二』

## 新規電子化コンテンツ

本学所蔵コレクションから、25年度は以下の資料等を電子化・公開しました。Webサイトの「九大コレクション」よりご覧いただけます。

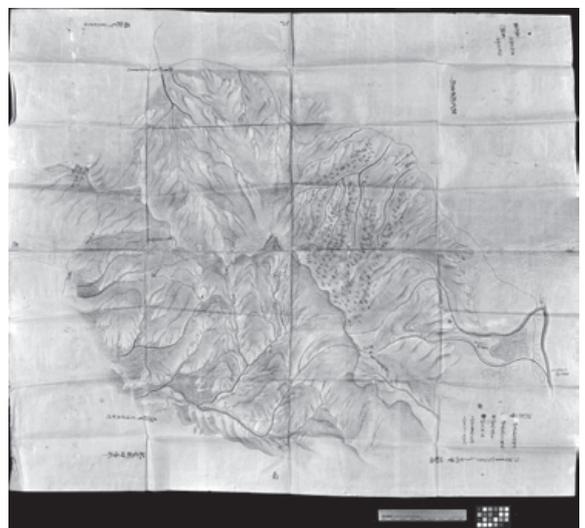
#### ●旧松浦家蔵草双紙(文系合同図書室所蔵 180点488冊)

旧平戸藩主松浦家が所蔵していた草双紙類を、昭和40年に九州大学文学部が購入したもので、松浦家の戯作蒐集、ひいては近世大名の書籍蒐集をうかがううえでも、貴重な資料群です。「旧松浦家蔵草双紙」全点の書誌情報をデータベース化するとともに、すべての短編合巻と、長編合巻の一部を、PDFファイルによる全画面像として公開しました。

撮影・電子化作業は、有明工業高等専門学校 菱岡憲司准教授による「次世代研究環境整備のための在九州戯作文献データベースの構築」(学術研究助成基金助成金 若手研究(B) 研究代表者:菱岡憲司 研究課題番号:23720131)の一環として実施されました。

#### ●『背振山堺図』(中央図書館廣瀬文庫所蔵)

天和から元禄年間にわたって福岡藩と佐賀藩が争った背振山の境界争論中、双方が主張する国境線を描いた絵図で、当時の争論の過程を伺い知ることができます(p6参照)。統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻の大学院生による演習の一環として電子化されました。



廣瀬文庫『背振山堺図』

# 研究開発室 Research & Development

## ● 研究開発室事項の再編について

24年度までの事項は、大きくⅠ 将来計画に関する分野、Ⅱ 電子図書館システムに関する分野、Ⅲ コンテンツ形成・発信に関する分野の3つに分かれていましたが、25年度からは、Ⅰ 図書館運営に関する分野、Ⅱ 学習・教育活動との連携に関する分野、Ⅲ コンテンツ形成および学術情報発信に関する分野の3つのもとに再編しました。また、一つの事項の内容の分割、複数の事項の統合などを行い、ライブラリーサイエンス専攻との連携による情報専門職の育成、教材開発については単独の研究開発事項として新設しました。

以上の再編に基づき、25年度は、下記の事項についての研究開発活動を行いました。



オーバヘッド非接触式スキャナSV600を用いた漢籍の電子化

## 平成25年度研究開発室研究開発事項

### ● 総括

研究開発の総括	川本 芳昭 (附属図書館長、副学長)	大学における学術情報の収集、加工、蓄積、提供及びその他図書館が行う学習・教育・研究支援活動の改善に関する事項のうち、九州大学附属図書館研究開発室において行う課題を指定し総括する。
---------	--------------------	---

### ● Ⅰ 図書館運営に関する分野

情報専門職の育成に関する調査研究	石田 栄美 (研究開発室) 岡崎 敦 (人文科学研究院)	図書館職員の専門性および次世代を担う情報専門職の育成をはかるための調査研究を行う。
内外の図書館間連携および新図書館計画に関する調査研究	吉田 素文 (副館長) 石田 栄美 (研究開発室) 堀 賀貴 (人間環境学研究院) 松原 孝俊 (韓国研究センター)	研究・開発分野での大学図書館間の連携をすすめるとともに、新図書館に必要とされる図書館機能と、それを実現するための施設設備・サービスに関する調査研究を行う。
マーケティングおよび新サービスの創出に関する調査研究	馬場 謙介 (研究開発室) 池田 大輔 (システム情報科学研究院) 藤崎 清孝 (システム情報科学研究院) 伊東 栄典 (情報基盤研究開発センター) 森 雅生 (大学評価情報室) 南 俊朗 (九州情報大学) 井上 創造 (九州工業大学)	利用状況の分析を基にした図書館マーケティングと、それを活用したサービス・利用環境の改善、新たなサービスの創出に関する調査研究を行う。
資料保存に関する調査研究	三輪 宗弘 (付設記録資料館)	本学が所蔵する資料の保存・管理体制に関する調査研究を行う。

### ● Ⅱ 学習・教育活動との連携に関する分野

学習・教育支援に関する調査研究	吉田 素文 (副館長) 富浦 洋一 (システム情報科学研究院) 池田 大輔 (システム情報科学研究院) 井上 仁 (情報基盤研究開発センター) 山田 政寛 (基幹教育院) 森 雅生 (大学評価情報室)	九州大学における学習・教育活動と連携した新たな教育支援のあり方について調査研究を行う。
教材開発および著作権処理に関する調査研究	岡田 義広 (付設教材開発センター) 吉田 素文 (副館長) 井上 仁 (情報基盤研究開発センター) 黒澤 節男 (特別研究員)	インストラクショナルデザインに基づいた教材、教育方法の研究開発と、教材作成にかかわる著作権処理問題について調査研究を行う。

### ● Ⅲ コンテンツ形成および学術情報発信に関する分野

コンテンツ形成に関する調査研究	川平 敏文 (人文科学研究院) 中里見 敬 (言語文化研究院) Wolfgang Michel (特別研究員) 三輪 宗弘 (付設記録資料館)	九州大学が所蔵する貴重資料、コレクション等について、その由来や内容、価値等の調査を行うとともに、その画像及び書誌データベース作成についての調査研究を行う。
学術情報の流通および発信に関する調査研究	馬場 謙介 (研究開発室) 吉田 素文 (副館長) 荒木啓二郎 (システム情報科学研究院) 竹田 正幸 (システム情報科学研究院) 富浦 洋一 (システム情報科学研究院) 池田 大輔 (システム情報科学研究院) 田中久美子 (システム情報科学研究院) 廣川佐千男 (情報基盤研究開発センター) 森 雅生 (大学評価情報室) 黒澤 節男 (特別研究員)	九州大学が蓄積する学術情報資源をより効果的に発信するために、学術情報リポジトリ(QIR)等の発信機能の高度化、システム間連携、検索システムに関する研究開発を行う。

## EEPによる図書館職員向け研修など

「教育の質向上支援プログラム(EEP)」の一環として、23・24年度に引き続き図書館職員向けの研修を実施し、アクティブ・ラーニングについて実践を通じて学び、26年度以降の学修支援に向けての基礎知識や考え方を職員間で共有しました。

### ●第1回ワークショップ「未来の図書館をつくろう」

【開催日】平成25年10月22日(火)

【ゲスト】森 玲奈氏(東京大学大学院情報学環・特任助教)

【参加者】13名

【内 容】ペアインタビューやレゴでの「未来の図書館」づくり

### ●第2回レクチャー「基幹教育を知ろう! 教育に関わる大学人であるために」

【開催日】平成25年12月10日(火)

【講 師】山田 政寛氏(基幹教育院准教授)

【参加者】21名

【内 容】26年度からの基幹教育について

### ●第3回ワークショップ「図書館発の新企画を立てる」

【開催日】平成26年1月9日(木)

【ゲスト】森 玲奈氏(東京大学大学院情報学環・特任助教)

【参加者】14名

【内 容】カフェトークによる事例紹介やグループワークによる模擬企画の提案

## 平成25年度九州大学附属図書館研修・出張報告会

職員間で情報を共有し、職員の見識を深めるとともに、九大図書館等における今後の取り組みに生かすことを目的に実施しました。

国内および海外での研修等に参加した職員5名がそれぞれ報告を行い、様々な研修の内容に触れる機会となりました。

【開催日】平成25年11月5日(火) 14:30-17:15

【場 所】九州大学中央図書館 1階会議室

### 【プログラム】

野原ゆかり (大学図書館職員長期研修 7/1-7/12)

吉丸 梓 (中四国九州沖縄地区フレッシュパーソンセミナー 9/12-9/13)

古賀 京子 (学術情報ウェブサービス担当者研修 7/24-7/26)

原賀可奈子 (大学図書館職員短期研修 9/30-10/4)

天野絵里子 (国立大学図書館協会海外派遣事業:シンガポール 8/15-8/24)

## 平成25年度図書系職員初任者研修

新任図書系職員に対し、九州大学附属図書館の理念、目標や現在取り組んでいる主な事業等を理解させるとともに、図書館業務遂行に必要な基礎知識を習得させることを目的として実施しています。

これらの講義は、初任者以外の職員も多数聴講し、自己研鑽を深める契機ともなっています。

### 【プログラム】

5/23(木) 九州大学附属図書館の目指すもの  
館長講話  
九州大学附属図書館の概要と図書館業務の流れ  
中期計画・年度計画について  
ネットワークとセキュリティ  
貴重書見学  
各係業務説明(利用支援)  
大学図書館活用セミナー補助  
各係業務説明(資料整備)

5/24(金) 学術情報流通と発信/システムリプレイス  
文献検索演習  
図書館の学習教育支援  
業務説明(運用支援)  
統合移転と新図書館計画  
伊都図書館&喫鳴天空広場見学

## 学術情報ウェブサービス担当者研修・目録システム地域講習会

国立情報学研究所と共催で、下記の講習会を開催しました。

### ●学術情報ウェブサービス担当者研修

【開催日】平成25年7月24日(水)~26日(金)

【参加者】27名

【内 容】最新のウェブ技術や情報サービスの概要の理解、所属機関において必要とされる新たな学術情報の提供・発信サービスの企画立案

### ●目録システム地域講習会(図書コース)

【開催日】平成25年8月21日(水)~23日(金)

【参加者】16名

【内 容】総合目録データベースの構成、内容、データ登録の考え方(入力基準)の修得

## 統計 = 利用サービス = Statistics

平成25(2013)年度

			中央図書館 Central Lib.	医学図書館 Medical Lib.	芸術工学図書館 Design Lib.	筑紫図書館 Chikushi Lib.	伊都図書館 Ito Lib.	嚶鳴天空広場 Q-Commons	文系合同図書室 Human.& Soc.Sci.Lib.	合計 Total
年間開館日数 Opening days (日)	平日 Weekday		239	238	244	241	241	172	227	1,602
	土曜 Saturday		48	47	32	47	47	0	39	260
	日曜・祝日 Others		65	62	4	0	60	0	0	191
	合計 Total		352	347	280	288	348	172	266	2,053
入館者数 Visitors (人)	教職員 Faculties		17,077	9,270	2,319	9,212	9,577	58	3,344	50,857
	学生 Students		393,136	119,290	26,702	36,847	298,180	141,345	19,326	1,034,826
	学外者 Others		35,032	5,668	633	7,066	7,777	0	360	56,536
	合計 Total		445,245	134,228	29,654	53,125	315,534	141,403	23,030	1,142,219
貸出冊数 Circulations(Items) (冊)	教職員 Faculties		6,753	2,815	1,600	1,530	9,067	68	11,361	33,194
	学生 Students		62,641	11,870	16,088	5,952	72,561	2,350	39,371	210,833
	学外者 Others		2,205	176	287	213	480	0	0	3,361
	合計 Total		71,599	14,861	17,975	7,695	82,108	2,418	50,732	247,388
貸出者数 Circulations(Users) (人)	教職員 Faculties		4,110	1,762	930	1,241	5,382	58	6,035	19,518
	学生 Students		39,391	8,527	8,896	4,662	44,683	1,991	21,900	130,050
	学外者 Others		1,847	150	199	147	322	0	0	2,665
	合計 Total		45,348	10,439	10,025	6,050	50,387	2,049	27,935	152,233
文献複写件数 Resource Sharing(copies) (件)	学外からの受付(国内) Requests(Domestic)		3,168	12,389	203	-	866	-	-	16,626
	学外からの受付(国外) Requests(International)		72	0	3	-	0	-	-	75
	小計 Subtotal		3,240	12,389	206	-	866	-	-	16,701
	学内からの受付 (内、E-DDS件数) (E-DDS of above)		926 (180)	1,050 (310)	133 (20)	110 (71)	515 (178)	- (-)	- (-)	2,734 (759)
	合計 Total		4,166	13,439	339	110	1,381	-	-	19,435
	(うち謝絶) (cancel)		661	1,367	29	0	140	-	-	2,197
	学外への依頼(国内) Received(Domestic)		2,628	3,147	325	194	1,502	-	-	7,796
	学外への依頼(国外) Received(International)		91	33	0	0	0	-	-	124
	合計 Total		2,719	3,180	325	194	1,502	-	-	7,920
	(うち謝絶) (cancel)		358	99	108	0	132	-	-	697
相互貸借件数 Resource Sharing(Loans) (件)	学外からの受付(国内) Borrows(Domestic)		1,335	31	120	13	528	-	-	2,027
	学外からの受付(国外) Borrows(International)		13	0	1	0	0	-	-	14
	合計 Total		1,348	31	121	13	528	-	-	2,041
	(うち謝絶) (cancel)		294	13	10	0	100	-	-	417
	学外への依頼(国内) Loans(Domestic)		941	34	131	18	436	-	-	1,560
	学外への依頼(国外) Loans(International)		6	0	0	0	0	-	-	6
	合計 Total		947	34	131	18	436	-	-	1,566
(うち謝絶) (cancel)		187	12	15	0	46	-	-	260	
レファレンス件数 Reference inquiries (件)	教職員 Faculties		148	594	83	51	379	0	165	1,420
	学生 Students		860	1,874	247	127	2,431	696	2,469	8,704
	学外者 Others		232	739	35	30	145	0	658	1,839
	合計 Total		1,240	3,207	365	208	2,955	696	3,292	11,963
	所在調査 Holdings		262	135	72	64	579	10	2,633	3,755
	事項調査 Topics		78	47	56	1	56	7	165	410
	利用指導・その他 Instructions /Others		900	3,025	237	143	2,320	679	494	7,798
合計 Total		1,240	3,207	365	208	2,955	696	3,292	11,963	

※文献複写・相互貸借件数には謝絶も含む

## 電子ジャーナルの利用(主要パッケージのフルテキストダウンロード数)

E-Journals

Full-text downloads in major e-Journal packages

2013.1.1-12.31

パッケージ名称 Service	利用件数 Downloads	パッケージ名称 Service	利用件数 Downloads
American Chemical Society (ACS)	258,905	Karger	6,648
American Institute of Physics (AIP)	57,423	Nature Site License	201,652
American Physical Society (APS)	32,539	ProQuest Health & Medical Complete	14,636
CiNii*	172,711	ProQuest Research Library	18,685
Elsevier ScienceDirect Freedom Collection	987,851	SpringerLink	169,790
Journals@Ovid	7,583	Wiley Online Library	280,131
合計 Total		2,208,554	

※国内誌

## 情報検索サービスの利用

Databases

2013.1.1-12.31

種別 Type	サービス名 Database name	説明 Description	検索回数 Searches	セッション数 Sessions
きゆうとサービス Cute services	Cute.Search	ディスカバリ(グローバル)	587,836	-
	Cute.Catalog	ディスカバリ(ローカル)	463,811	-
	きゆうとOPAC	九大所在情報	768,273	-
	きゆうとLinQ	リンクリゾルバ	614,243	-
	きゆうとE-Journals	電子ジャーナル集	68,307	-
	きゆうとMyLibrary	図書館ポータル	-	76,905
	RefWorks	文献管理ツール	-	5,523
文献情報 Abstracts & index databases	CiNii	全分野(国内)	312,270	83,087
	Web of Science	全分野	256,399	51,908
	Scopus	自然・社会科学	230,924	71,327
	医中誌Web	医学(国内)	213,920	48,555
	SciFinder	化学	174,168	37,074
	JDreamIII	自然科学	19,472	6,211
	MEDLINE (Ovid)	医学	4,497	1,050
	PsycINFO (Ovid)	心理学	3,794	991
	Econlit (EBSCOhost)	経済学	3,765	2,520
	EBM Reviews (Ovid)	医学	2,347	958
	CINAHL (EBSCOhost)	看護学	1,642	758
事典類 References	ERIC (Ovid)	教育学	335	132
	JapanKnowledge	(国内)	50,035	7,414
	国史大辞典Web	(国内)	6,788	2,003
	日本歴史地名大系	(国内)	2,527	541
	Gale Virtual Reference Library		23	217
	理科年表プレミアム	(国内)	-	382
	Marquis Biographies Online		170	66
	研究社オンライン・ディクショナリー	(国内)	-	545
新聞 Newspaper articles	間蔵II ビジュアル for Libraries	朝日新聞など	-	4,840
	西日本新聞記事データベース「パピルス」	西日本新聞記事	8,374	-
	毎日新聞社データベース「毎索」	毎日新聞記事	4,657	1,033
	ヨミダス歴史館	読売新聞など	5,583	-
インパクトファクター Impact factor	Journal Citation Reports [JCR]	自然科学	17,952	18,331

## 学内配送サービスの利用(図書の貸出・返却に学内配送システムを利用した回数)

Inter-campus book delivery

平成25(2013)年度

から from	へ to	中央図書館 Central Lib.	文系合同図書室 Human. & Soc. Sci. Lib.	医学図書館 Medical Lib.	芸術工学図書館 Design Lib.	筑紫図書館 Chikushi Lib.	伊都図書館 Ito Lib.	隈鳴天空広場 Q-Commons	計 Total
中央図書館 Central Lib.			4,265	954	1,525	659	6,006	479	13,888
文系合同図書室 Human. & Soc. Sci. Lib.		3,964		131	508	117	1,840	189	6,749
医学図書館 Medical Lib.		731	167		141	84	559	30	1,712
芸術工学図書館 Design Lib.		1,442	503	162		195	1,094	122	3,518
筑紫図書館 Chikushi Lib.		579	84	68	209		815	37	1,792
伊都図書館 Ito Lib.		7,481	2,078	675	1,372	917		2,951	15,474
隈鳴天空広場 Q-Commons		283	113	26	75	27	312		836
計 Total		14,480	7,210	2,016	3,830	1,999	10,626	3,808	43,969

# 統計 = 基盤サービス = Statistics

## 図書・雑誌(冊子体)の受入 Current acquisitions of materials

平成25(2013)年度

		図書受入冊数 Current acquisitions of books (冊)			雑誌受入種類数(冊子体) Current serials title (種)		
		和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total	和雑誌 CJK	洋雑誌 Western	計 Total
中央図書館 Central Library	中央図書館 Central Library	4,460	1,644	6,104	1,597	157	1,754
	理学研究院 Faculty of Sciences	205	265	470	238	204	442
	農学研究院 Faculty of Agriculture	441	2,944	3,385	810	498	1,308
	小計 Central Library Total	5,106	4,853	9,959	2,645	859	3,504
医学図書館 Medical Library	医学図書館 Medical Library	1,182	830	2,012	608	408	1,016
	医学研究院 Faculty of Medical Sciences	154	110	264	61	22	83
	歯学研究院 Faculty of Dental Science	3	8	11	11	13	24
	薬学研究院 Faculty of Pharmaceutical Sciences	0	13	13	2	0	2
	生体防御医学研究所 Medical Institute of Bioregulation	0	0	0	0	0	0
	病院(医・歯) University Hospital	80	120	200	80	83	163
	小計 Medical Library Total	1,419	1,081	2,500	762	526	1,288
芸術工学図書館 Design Library	1,831	420	2,251	453	95	548	
筑紫図書館 Chikushi Library	筑紫図書館 Chikushi Library	650	128	778	251	35	286
	総合理工学研究院 Faculty of Engineering Sciences	4	10	14	13	0	13
	応用力学研究所 Research Institute for Applied Mechanics	0	0	0	12	5	17
	先端物質化学研究所 Institute for Materials Chemistry and Engineering	1	2	3	1	0	1
	小計 Chikushi Library Total	655	140	795	277	40	317
伊都図書館 Ito Library	伊都図書館 Ito Library	6,450	596	7,046	544	28	572
	比較社会文化研究院 Faculty of Social and Cultural Studies	1,696	483	2,179	171	78	249
	言語文化研究院 Faculty of Languages and Cultures	902	416	1,318	15	52	67
	数理学研究院 Faculty of Mathematics	216	2,021	2,237	33	444	477
	工学研究院 Faculty of Engineering	228	315	543	190	169	359
	システム情報科学研究院 Faculty of Information Science and Electrical Engineering	90	114	204	43	48	91
	基幹教育院 Faculty of Arts and Science	24	3	27	11	10	21
	小計 Ito Library Total	9,606	3,948	13,554	1,007	829	1,836
文系合同図書館 Humanities and Socialsciences Library Total	文学部 School of Letters	10,107	1,731	11,838	2,578	291	2,869
	教育学部 School of Education	637	209	846	635	75	710
	法学研究院 Faculty of Law	2,654	1,571	4,225	709	300	1,009
	経済学研究院 Faculty of Economics	1,482	1,337	2,819	646	224	870
	人環 都市・建築学部 Faculty of Human-Environment Studies, Dep. of Arch. & Urban Design	411	160	571	29	39	68
	小計 Humanities and Socialsciences Library Total	15,291	5,008	20,299	4,597	929	5,526
別府病院 Beppu Hospital	0	0	0	45	7	52	
記録資料館 Manuscript Library	401	13	414	425	3	428	
合計 Total		34,309	15,463	49,772	10,211	3,288	13,499

(注1) 図書受入数及び雑誌受入種類数は、図書館・室の単位で大区分を行い、その中を部局・附置研究所・全国共同利用施設の単位で展開している。学内共同教育研究施設及び学内共同利用施設等の受入数については、それらの施設の事務処理を行う館・室の項目に計上している。

(注2) 統合新領域学府オートモーティブサイエンス専攻、カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所、マス・フォア・インダストリ研究所は、伊都図書館の項目に計上している。

(注3) 図書受入冊数は、資産として受入された図書の冊数である。

## 資料費 Expenditures for library materials

平成25(2013)年度  
(単位:千円/thousand yen)

		図書費 Books		雑誌・新聞費 Serials		eリソース Electronic resources		その他 Others		資料費総額 Total	
中央図書館	Central Library	69,516		55,378		556,514		10,902		692,310	
医学図書館	Medical Library	17,428		14,692		12,224		754		45,097	
芸術工学図書館	Design Library	13,745		5,949		163		1,350		21,208	
筑紫図書館	Chikushi Library	13,448		3,625		0		0		17,072	
伊都図書館	Ito Library	98,623		56,196		15,067		3,017		172,903	
文系合同図書室	Human. & Soc. Sci. Lib.	120,394		41,820		21,034		6,330		189,578	
別府病院	Beppu Hospital	0		33		272		0		305	
記録資料館	Manuscript Library	1,789		226		0		0		2,015	
<b>合計</b>	<b>Total</b>	<b>334,943</b>		<b>177,918</b>		<b>605,274</b>		<b>22,353</b>		<b>1,140,489</b>	

- (注1) 全学共通の電子ジャーナルは、一括して中央図書館に計上。  
 (注2) eリソースにはEJ,DB、その他電子ツールを含む。  
 (注3) 資料費総額には、視聴覚資料・製本費等、その他の資料に関する費用も含む。  
 (注4) 情報基盤研究開発センターは中央図書館に計上。

## 電子ジャーナル E-Journals

平成26(2014)年5月1日現在

### アクセス可能な電子ジャーナル(無料誌含む) Accessible e-Journals (including free titles)

純タイトル数 Unique titles	78,630
----------------------	--------

### 契約タイトル数 Licensed e-Journals

平成26(2014)年度

出版社等 Publisher	タイトル数 Titles	出版社等 Publisher	タイトル数 Titles
American Chemical Society (ACS)	44	LexisNexis: Academic & lexis.com	9,843
American Institute of Physics (AIP)	12	Lippincott Williams and Wilkins (LWW)	24
American Physical Society (APS)	8	Medical Online Library (MOL) ※	1,223
American Society of Mechanical Engineers (ASME)	26	Nature Publishing Group	34
Association for Computing Machinery: ACM Portal	1,136	OECD iLibrary	190
Cambridge University Press	36	Oxford University Press	262
Cell Press	11	ProQuest Central	15,538
Chemical Society of Japan (CSJ) ※	2	Science (AAAS)	3
CiNii ※	600	SpringerLink	1,670
EBSCOhost: Business Source Complete	13,995	Taylor & Francis	103
EBSCOhost: EconLit with Full Text	689	UniBio Press ※	7
Elsevier ScienceDirect	2,399	University of Chicago Press	10
IEEE: ASPP Online, POP Online	288	Wiley Online Library	1,409
IEICE ※	8	World Scientific Publishing	15
Institute of Physics (IOP)	10	応用物理学会(JSAP) ※	2
Journals@Ovid	7	日本物理学会(JPS) ※	1
JSTOR: Arts & Sciences Collection I-II	375	その他	572
Karger	1		
		<b>合計 Total</b>	<b>50,553</b>

※国内誌

## 蔵書数 Holdings

平成26(2014)年3月31日現在

		図書所蔵冊数 Books (冊)			雑誌所蔵種類数 Serials (種)		
		和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total	和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total
中央図書館	Central Lib.	606,810	376,493	983,303	17,904	11,877	29,781
医学図書館	Medical Lib.	147,401	203,766	351,167	2,801	7,280	10,081
芸術工学図書館	Design Lib.	129,369	51,935	181,304	2,064	991	3,055
筑紫図書館	Chikushi Lib.	67,042	78,938	145,980	1,515	1,192	2,707
伊都図書館	Ito Lib.	519,575	465,837	985,412	8,648	8,276	16,924
文系合同図書室	Human. & Soc. Sci. Lib.	856,735	627,054	1,483,789	17,812	8,530	26,342
別府病院	Beppu Hospital	6,693	13,491	20,184	292	347	639
記録資料館	Manuscript Lib.	55,289	4,322	59,611	1,709	54	1,763
<b>合計</b>	<b>Total</b>	<b>2,388,914</b>	<b>1,821,836</b>	<b>4,210,750</b>	<b>52,745</b>	<b>38,547</b>	<b>91,292</b>

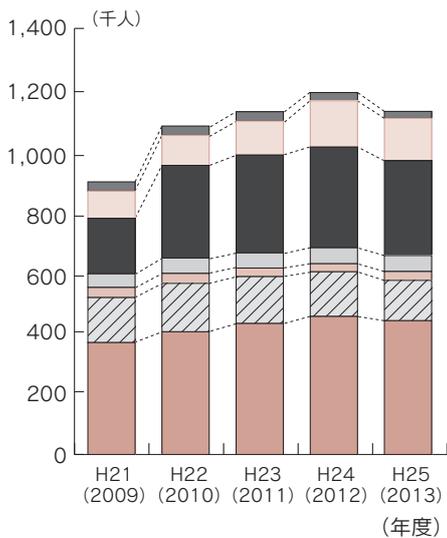
(注) 図書蔵書冊数は、資産として登録された図書の冊数である。

# 統計 = 推移と分析 = Statistics

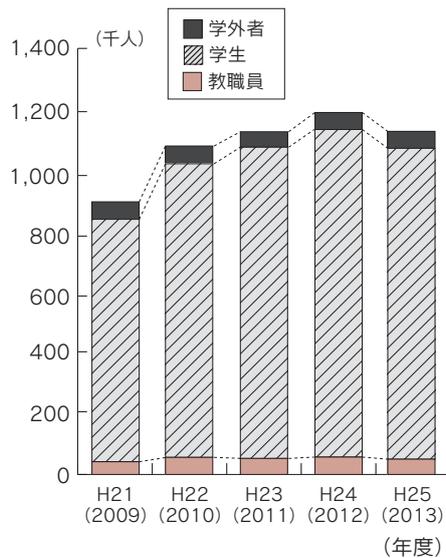
## ■ 利用サービスの推移



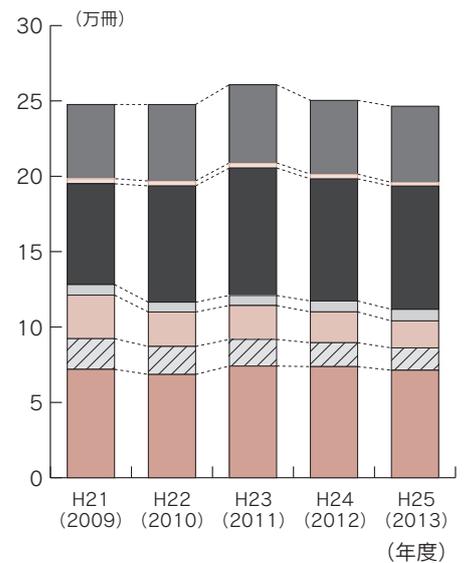
入館者数



身分別入館者数

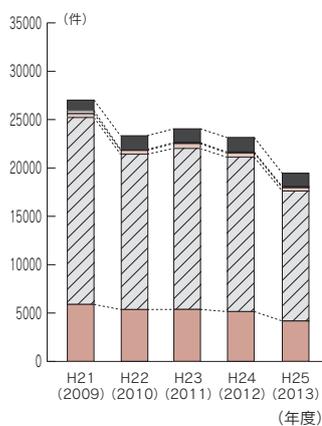


貸出冊数

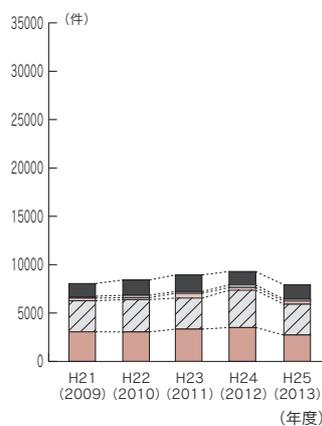


入館者数については、全体として前年度と比べ5%の減少となりました。身分別入館者数のグラフからは、教職員による利用の減少が見られます。学生については、特に伊都図書館と医学図書館で減少しており、伊都図書館では理学系新営工事、医学図書館では病院地区再開発によるキャンパス内の学習環境の充実・多様化等が影響しているものと考えられます。一方、近年減少が続いていた芸術工学図書館の入館者数は、前年度の1割増に転じました。貸出冊数については、例年と比較し、おおむね横ばいとなっています。入館者数が減少した伊都図書館でも、貸出冊数は前年度に比べて微増しています。

文献複写件数【受付】

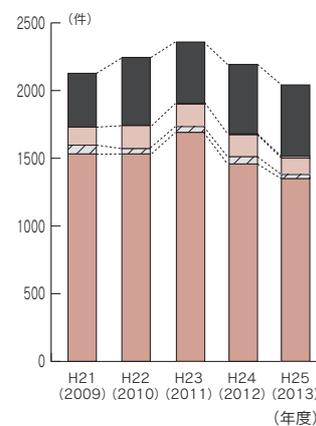


文献複写件数【依頼】

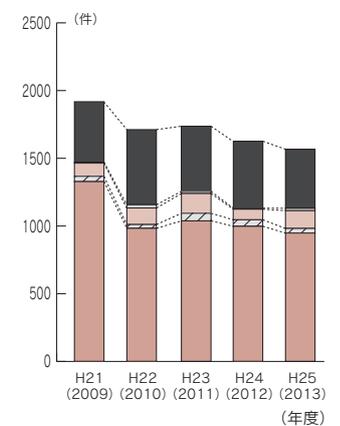


受付(学外機関/学内利用者・個人への文庫コピーの提供)は全体として減少が続いています。これは、全国的な減少傾向と合わせて、オープンアクセスや電子ジャーナルのアクセス環境の向上が原因として考えられます。依頼(学外機関からの文庫コピーの取寄せ)も全体として減少していますが、各図書館別では伊都図書館、芸術工学図書館が増加しました。特に伊都図書館は対前年度比1割の増加となりました。なお25年度はシステム更新に伴い、10日間文庫複写サービスを停止したことも、件数減少に影響していると思われます。

相互貸借件数【受付】



相互貸借件数【依頼】

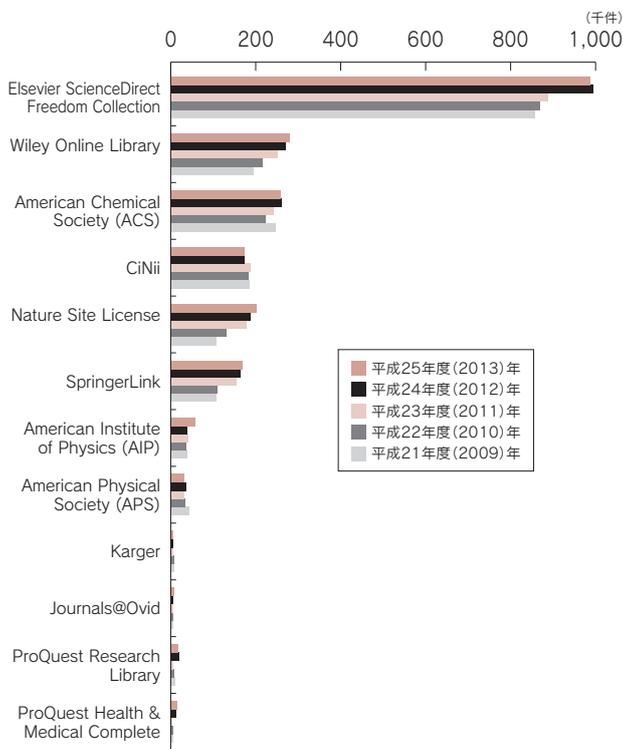


受付(学外機関への図書の貸出)、依頼(学外機関からの図書の借受)ともに、若干の変動はありますが全体の件数としては底堅い印象です。各図書館別では対前年度で中央図書館、医学図書館が減少となりましたが、依頼では芸術工学図書館が増加となりました。なお25年度はシステム更新に伴い、10日間相互貸借サービスを停止したことも、件数減少に影響していると思われます。

## 電子ジャーナルと情報検索サービスの利用の推移

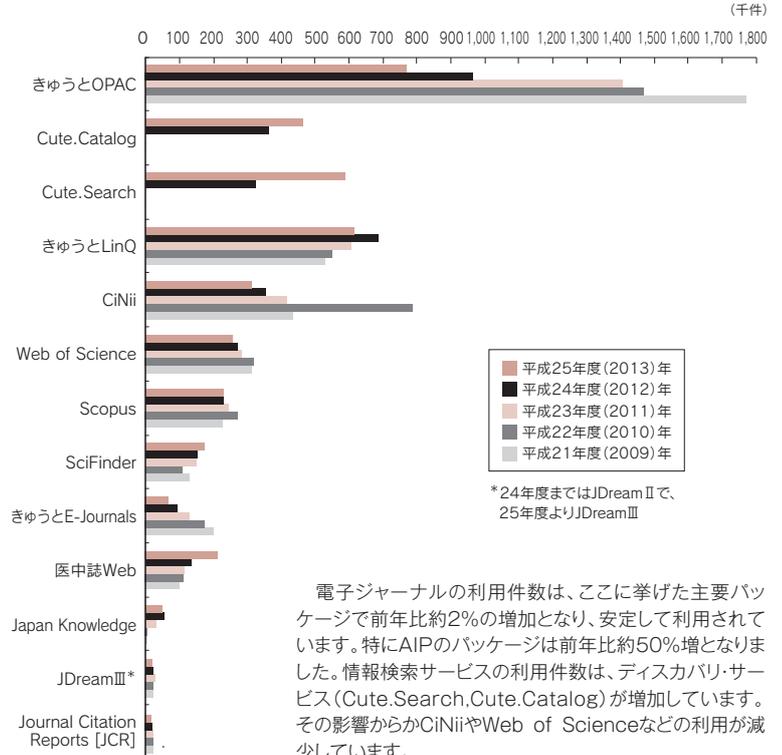
電子ジャーナルの利用

主要パッケージの利用件数



情報検索サービスの利用

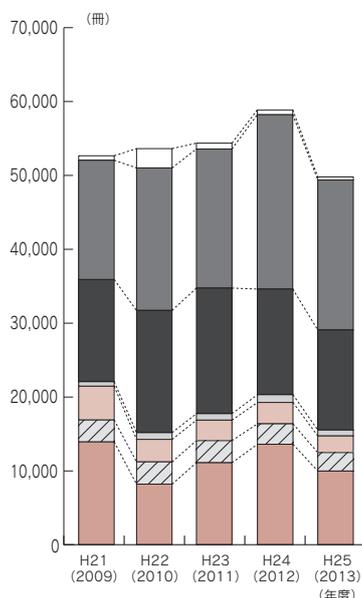
主要データベースの検索回数



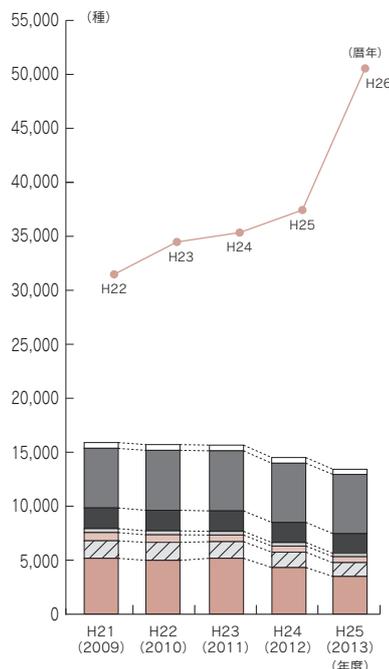
電子ジャーナルの利用件数は、ここに挙げた主要パッケージで前年比約2%の増加となり、安定して利用されています。特にAIPのパッケージは前年比約50%増となりました。情報検索サービスの利用件数は、ディスカバリ・サービス(Cute.Search,Cute.Catalog)が増加しています。その影響からCiNiiやWeb of Scienceなどの利用が減少しています。

## 資料受入の推移

図書受入冊数



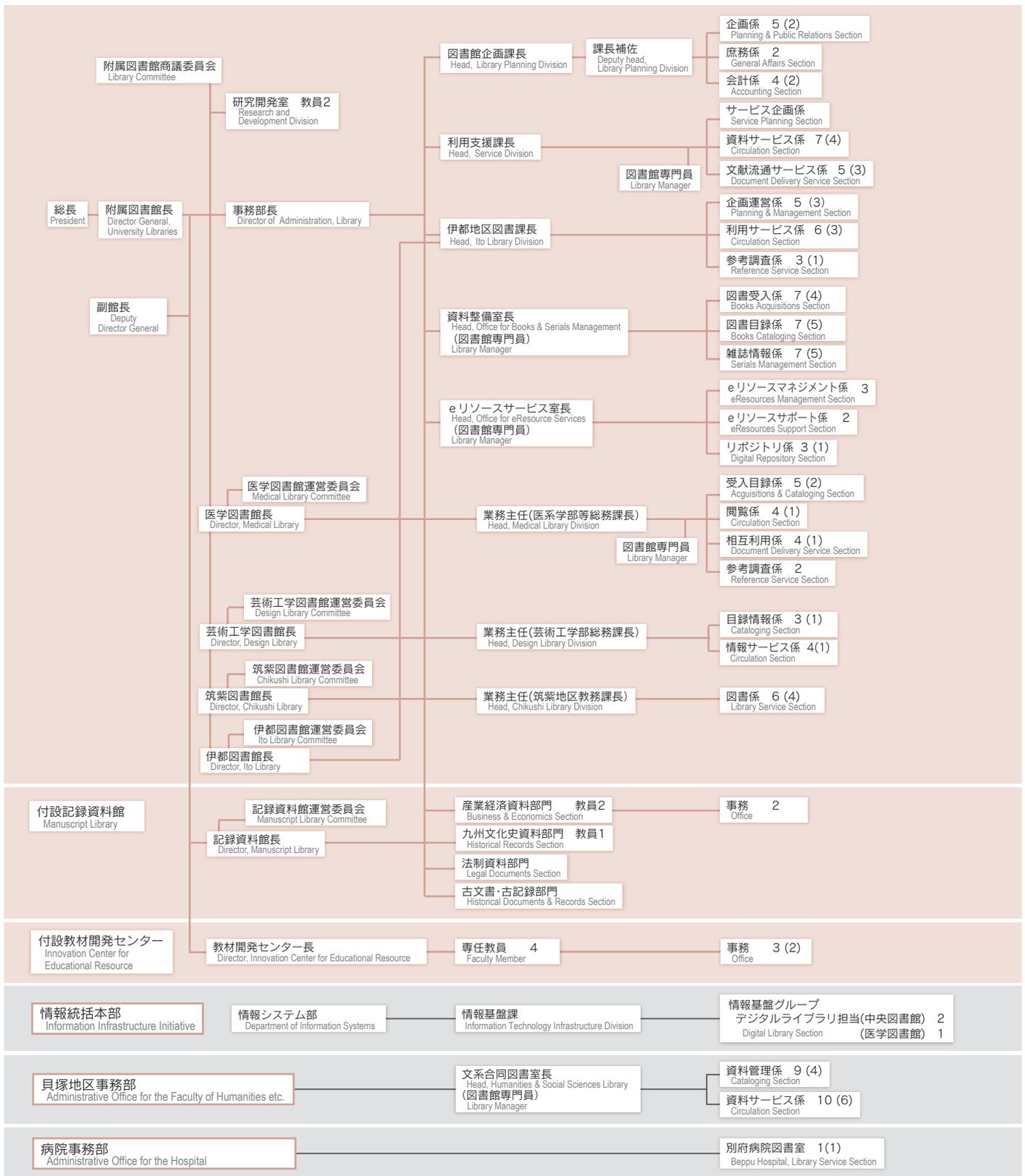
雑誌受入種類数



25年度の図書受入冊数が前年比で約15%減少していますが、これは24年度は大量の寄贈受入があったことが影響しています。雑誌、特に外国雑誌は円安の影響と電子ジャーナルの契約数の増加により、冊子体の受入種類数の減少が続いています。

# 附属図書館の組織 Organization

(平成26年4月1日現在)



区分	教授	准教授	講師	助教	合計	区分	事務部長	課長	課長補佐	図書館専門員	係長/専門職員	係員等	合計
教員数	2	4	0	3	9	職員数	1	3	1	5	21	101 (56)	132

※ 専任教員のみ。

※ 情報統括本部情報システム部のデジタルライブラリ担当を含む。( )内は事務補佐員で内数。

## 附属図書館長・副館長・分館長等

平成26年4月1日現在

附属図書館長	川本 芳昭 (副学長)	伊都図書館長	荒木啓二郎 (システム情報科学研究院 教授)
副館長	吉田 素文 (医学研究院 教授)	記録資料館長	三輪 宗弘 (記録資料館 教授)
医学図書館長	田中 雅夫 (医学研究院 教授)	教材開発センター長	藤村 直美 (芸術工学研究院 教授)
芸術工学図書館長	佐藤 優 (芸術工学研究院 教授)	事務部長	益森 治巳
筑紫図書館長	笹田 一郎 (総合理工学研究院 教授)		

## 附属図書館商議委員会

平成26年4月1日現在

### 委員長

川本 芳昭 (副学長、附属図書館長)

### 委員

吉田 素文 (副館長)  
田中 雅夫 (医学図書館長)  
佐藤 優 (芸術工学図書館長)  
笹田 一郎 (筑紫図書館長)  
荒木啓二郎 (伊都図書館長)  
三輪 宗弘 (記録資料館長)  
藤村 直美 (教材開発センター長)  
谷口倫一郎 (情報基盤研究開発センター長)  
緒方 一夫 (留学生センター長)  
佐伯 弘次 (人文科学研究院 教授)  
辛島 正雄 ( )  
嶋田洋一郎 (比較社会文化研究院 教授)  
東 英寿 ( )  
関 一敏 (人間環境学研究院 教授)  
堀 賀貴 ( )  
酒匂 一郎 (法学研究院 教授)  
木村 俊道 ( )  
清水 一史 (経済学研究院 教授)  
田北 廣道 ( )  
小谷 耕二 (言語文化研究院 教授)  
福元 圭太 ( )  
中西 秀 (理学研究院 教授)

安中 雅彦 (理学研究院 教授)  
廣島 文生 (数理学研究院 教授)  
長田 博文 ( )  
吉田 眞一 (医学研究院 教授)  
笹栗 俊之 ( )  
横山 武志 (歯学研究院 教授)  
清島 保 ( )  
片山 勉 (薬学研究院 教授)  
植田 正 ( )  
吉川 孝男 (工学研究院 教授)  
小江 誠司 ( )  
綿貫 茂喜 (芸術工学研究院 教授)  
板橋 義三 ( )  
瀧本 英二 (システム情報科学研究院 教授)  
岩熊 成卓 ( )  
青木百合子 (総合理工学研究院 教授)  
林 徹夫 ( )  
福田 晋 (農学研究院 教授)  
南石 晃明 ( )  
高瀬 正仁 (基幹教育院 教授)  
山崎 晶 (生体防御医学研究所 教授)  
広瀬 直毅 (応用力学研究所 教授)  
菊池 裕嗣 (先端物質化学研究所 教授)  
落合 啓之 (マス・フォア・インダストリ研究所 教授)  
益森 治巳 (附属図書館事務部長)

## 所属する図書館関係団体と九州大学の役割

### 附属図書館

国立大学図書館協会 理事館(全国の国立大学図書館 会員館数:91)  
九州地区国立大学図書館協会 代表館(九州地区の国立大学図書館 加盟館:11)  
九州地区大学図書館協議会 幹事館(九州地区の国公立大学図書館 加盟館:78)  
福岡県図書館協会 副会長(理事):館長(福岡県内の大学・公共・学校・専門図書館)  
福岡県・佐賀県大学図書館協議会 理事館(福岡県・佐賀県内の大学・短大・高専図書館 加盟館:41)

### 医学図書館

日本医学図書館協会 評議員館(全国の医学系および病院図書館・図書室)  
九州地区医学図書館協議会(九州地区の医学系図書館)

# 人事異動 Personnel Reshuffle

(平成25年4月1日~26年3月31日)

## ■学外へ転出

	異動後	異動前
4/1	古賀 香 京大大学院学術部中央図書室	資)図書受入係

## ■中央図書館

4/1	渡邊由紀子 利用支援課長 兼)准教授	図書館専門員 兼)eリソースサービス室長 兼)講師
〃	大瀧 礼二 図書館専門員 兼)eリソースサービス室長	芸)目録情報係長
〃	堀 優子 図書館専門員 兼)サービス企画係長	利)サービス企画係長 兼)資料サービス係長
〃	村上 公一 企)庶務係長	理学部等企画係長
〃	小柳 貴俊 利)資料サービス係長	医)参考調査係長
〃	別府 妙子 資)図書受入係長	e)eリソースマネジメント係長
〃	吉松 直美 資)図書目録係長	資)図書受入係長
〃	片岡 真 e)eリソースマネジメント係長	情報システム部情報基盤課専門職員
〃	星子 奈美 e)リポジトリ係長	企)企画係
〃	山根 泰志 企)企画係	資)図書目録係
〃	佐方 小弓 利)文献流通サービス係	文)資料管理係
〃	古賀 幸成 企画課専門員(特定有期事務職員)	(採用)
〃	首藤 智子 利)資料サービス係事務補佐員	(採用)
〃	越戸 美佳 資)図書目録係事務補佐員	(採用)
〃	藤田 幸 資)雑誌情報係事務補佐員	(採用)
4/14	香川 朋子 企)企画係(育児休業)	企)企画係
4/29	越戸 陽子 企)企画係(育児休業)	e)eリソースマネジメント係
6/1	奥野新太郎 e)リポジトリ係事務補佐員	(採用)
7/1	矢山 明子 国際部国際企画課会計係主任	企)会計係主任
〃	山本さやか 企)会計係主任	監査室監査第一係主任
8/1	平原 孝明 付設教材開発センター学術研究員	(採用)
8/12	吉峯かおり 資)図書目録係	(採用)
8/31	三浦 貴司 (退職)	企)企画係
9/1	香川 朋子 企)企画係	(職場復帰)
〃	福山 恵子 資)図書受入係事務補佐員	(採用)
〃	稲田 環 付設教材開発センターテクニカルスタッフ	(採用)
〃	中國 沙貴 付設教材開発センターテクニカルスタッフ	(採用)
〃	衛藤なつみ 付設教材開発センター事務補佐員	(採用)
9/30	奥野新太郎 (退職)	e)リポジトリ係事務補佐員
10/1	小柳 真弓 企)企画係	e)リポジトリ係
〃	香川 朋子 e)リポジトリ係	企)企画係
10/23	衛藤なつみ (退職)	付設教材開発センター事務補佐員
10/26	吉松 直美 (育児休業)	資)図書目録係長
11/1	井上茉莉奈 企)企画係事務補佐員	(採用)
〃	芝原佐南恵 企)企画係事務補佐員	(採用)
12/1	西 在華 付設教材開発センター事務補佐員	(採用)
3/31	中尾 康朗 (退職)	利)文献流通サービス係長
〃	首藤 智子 (退職)	利)資料サービス係事務補佐員
〃	今泉登美子 (退職)	資)図書受入係事務補佐員
〃	福山 恵子 (退職)	資)図書受入係事務補佐員
〃	越戸 美佳 (退職)	資)図書目録係事務補佐員
〃	平原 孝明 (退職)	付設教材開発センター学術研究員
〃	金子 晃介 (退職)	付設教材開発センターテクニカルスタッフ
〃	梶谷 理恵 (退職)	付設教材開発センターテクニカルスタッフ

## ■医学図書館

4/1	河上 章彦 相互利用係長 兼)参考調査係長	相互利用係長
〃	詫間沙由香 受入目録係	独立行政法人 大学評価・学位授与機構
〃	下野 美幸 閲覧係	受入目録係
〃	梶原 瑠衣 参考調査係	伊)参考調査係

4/1	濱野 奈美 相互利用係事務補佐員	(採用)
〃	村上 瑠衣 相互利用係事務補佐員	(採用)
6/30	濱野 奈美 (退職)	相互利用係事務補佐員
7/1	安武由美子 相互利用係事務補佐員	受入目録係事務補佐員
8/1	笠川真奈美 受入目録係事務補佐員	(採用)
11/30	村上 瑠衣 (退職)	相互利用係事務補佐員
1/1	落石 千壽 相互利用係事務補佐員	(採用)
3/31	相部久美子 (定年退職)	閲覧係
〃	笠川真奈美 (退職)	受入目録係事務補佐員

## ■芸術工学図書館

4/1	江藤 弘史 目録情報係長	文)資料サービス係長
-----	--------------	------------

## ■筑紫図書館

4/1	黒岩 由美 財務部資産活用課長	業務主任
〃	濱野 繁文 業務主任	学務部全学教育課課長補佐
〃	御手洗光代 図書係事務補佐員	筑紫地区教務課保健係事務補佐員
3/31	林 徹夫 (退任)	図書館長

## ■伊都図書館

4/1	荒木啓二郎 伊都図書館長	
〃	野原ゆかり 利用サービス係長	e)リポジトリ係長
〃	古賀 京子 参考調査係	利)資料サービス係
8/31	蘭 千佳子 (退職)	利用サービス係事務補佐員
9/1	宇治野寿子 利用サービス係	(採用)
3/31	菅原 潔子 (退職)	利用サービス係事務補佐員

## ■記録資料館 産業経済資料部門

4/1	山口 亜林 総務部総務課秘書係主任	主任
〃	古賀 華子 係員	医学学部等学術協力課
3/31	土井 徹平 (退職)	助教

## ■情報システム部情報基盤課

4/1	大田 海 情報基盤課デジタルライブラリ担当	利)文献流通サービス係
-----	-----------------------	-------------

## ■文系合同図書室

4/1	平良 香 文)資料管理係員	文)資料サービス係員
〃	羽賀 究 文)資料管理係事務補佐員	(採用)
〃	宮岡 大輔 文)資料サービス係長	伊)利用サービス係長、参考調査係長(兼任)
〃	吉丸 梓 文)資料サービス係員	(採用)
〃	田畑 澄香 文)資料サービス係事務補佐員	貝塚地区事務部総務課人事係事務補佐員
〃	吉本 聡美 文)資料サービス係事務補佐員	(採用)
8/31	古沢 恒平 (退職)	文)資料管理係事務補佐員
9/1	早津満理子 文)資料管理係事務補佐員	(採用)
10/1	服部麻衣子 文)資料管理係事務補佐員	(採用)
11/1	岡留 綾子 文)資料管理係事務補佐員	(採用)
3/31	金丸委津子 (定年退職)	文)資料管理係員

企)図書館企画課  
 利)利用支援課  
 資)資料整備室  
 e)eリソースサービス室  
 医)医学図書館  
 芸)芸術工学図書館  
 筑)筑紫図書館  
 文)文系合同図書室  
 伊)伊都図書館



# 図書館日誌 Diary

	全学・箱崎地区	医学図書館	芸術工学図書館	筑紫図書館	伊都図書館
H25 (2013) 4					
5	10 平成25年度九州大学開学記念行事・第54回附属図書館貴重 文物展示「建築家の礎 ― 一枚の設計図のために― ロイド・ モーガン建築コレクション」(~16日) 13 農学研究院図書委員会(第1回) 23 図書系職員初任者研修(~24日) 31 中央図書館図書資料選定委員会(第1回)	14 平成25年度外国雑誌 センター館会議 23 第84回日本医学図 書館協会総会(~ 24日)	13 第1回芸術工 学図書館運営 委員会	11 オープンキャン パス「九州大学 筑紫キャンパス の歴史散歩―昔 も今も学术交流 の拠点―」展示 30 第1回筑紫図書 館運営委員会	
6	30 九州地区国立大学法人等職員採用事務系(図書業務)二次専 門試験			14 第2回筑紫図書 館運営委員会 (書面回議)	
7	10 学生用図書選定委員会中央図書館分科会(第1回) 14 学術情報セミナー「学術情報ビッグバン〜学術情報の効率的発 見と提供について〜」 24 NII学術情報ウェブサービス担当者研修(~26日)	12 平成25年度第1回 医学図書館運営委 員会		9 第1回筑紫図書 館図書資料選定 委員会	8 南ソウル大学校 (17名)見学 30 第1回伊都図書館 運営委員会
8	3 オープンキャンパス「探検!大学図書館」(~4日) 21 NII目録システム地域講習会(~23日) 30 福岡アメリカン・センター講演会「デジタル時代を生き抜く! 情報リテラシーの育成」	5 オープンキャンパス 図書館開放	1 第2回芸術工 学図書館運営 委員会 4 オープンキャン パス図書館 開放 7 芸術工学図書 館長候補者選 挙会及び選考		3 オープンキャンパ ス 図書館開放 (~4日) 22 中高生のためのIT キャンプ(45名) 見学
9	17 農学研究院図書委員会(第2回)(書面回議) 25 防災訓練	17 ワイル病病原体発 見100周年史料展 示会(~10月4日)			
10	21 Library Lovers'キャンペーン2013(~11月17日) 22 第1回EEPによる職員研修(ワークショップ) 28 中央図書館図書資料選定委員会(第2回)(書面回議)	18 第61回九州地区医 学図書館協議会総 会			10 国立大学協会(2 名)来訪
11	5 研修・出張報告会 14 研究支援に関する勉強会 21 全国図書館大会福岡大会(~22日)	1 日本住血吸虫中間 宿主百周年記念展 (~12月1日) 6 第20回医学図書館 研究会・継続教育 コース(~8日)			6 ド・モンフォール大 学(3名)来訪 15 伊都図書館学生用 図書選定委員会 (書面回議)
12	1 図書館電子計算機システム更新 10 第2回EEPによる職員研修(講義)	6 平成25年度第1回 日本医学図書館協 会地区会事務局連 絡会議			17 文部科学省(2名) 来訪 24 韓国国立国会図書 館(1名)来訪
H26 (2014) 1	9 第3回EEPによる職員研修(ワークショップ)			22 筑紫図書館長候 補者選考委員会 (書面回議)	
2	14 ワークショップ「アクティブラーナーに向けた学習支援」 26 中央図書館図書資料選定委員会(第3回)(書面回議)				
3	6 EEP「大学図書館による自律的学修支援体制の構築」ウェブサ イト公開 7 理学研究院図書専門委員会(第1回)(書面回議) 25 椎木講堂オープニング展示「九州大学百年の至宝」(~5月2日)	13 平成25年度第2回 医学図書館運営委 員会			

文系合同図書室		記録資料館	教材開発センター	全学会議	関係団体会議等への出席
24	第1回文学部図書委員会				
26	第1回経済研究室委員会 (書面回議)				
29	第2回文学部図書委員会			8 大型図書資料選定委員会(第1回) 22 電子ジャーナル等検討専門委員会 会専門部会(第1回)	13 国立大学図書館協会総務委員会・学術情報委員会・教育学習支援検討特別委員会・新理事会・図書系専門試験委員会・人材育成委員会(東京大学) 14 国立七大学附属図書館事務部長懇談会、外国雑誌センター館会議(東京工業大学) 19 「大学学習資源利用モデル研究会」全体会(DNP五反田ビル) 24 福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会(九州共立大学) 30 日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画拠点連携委員会(第1回)(国文学研究資料館)
7	日経NEEDS講習会(～8日)		26 第1回運営委員会	5 研究開発室会議(第1回) 19 電子ジャーナル等検討専門委員会 (第1回)	6 オープンアクセス・サミット2013(学術総合センター)(～7日) 20 国立大学図書館協会総会(キャッスルプラザ) 21 国立大学図書館協会マネジメントセミナー(キャッスルプラザ)
24	第2回経済研究室委員会 (書面回議)	30 第24回記録資料館運営委員会	23 OCWとオープンエデュケーションに関する講演会	3 館長会議 3 第211回附属図書館商議委員会 22 大型図書資料選定委員会(第2回) 25 学生用図書選定委員会(第1回) (書面回議)	4 教育学習支援検討特別委員会(名古屋大学)
31	第1回文系合同図書室運営委員会				
3	文系オープンキャンパス向け開室			22 電子ジャーナル等検討専門委員会 会専門部会(第2回)	1 武雄市図書館見学会(武雄市図書館) 23 国立大学図書館協会人材委員会・人材委員会小委員会(東京大学)
30	第4回文学部図書委員会				
31	書庫害虫駆除(～9月1日)				
4	第3回経済研究室委員会		12 第2回運営委員会	13 電子ジャーナル等検討専門委員会 会専門部会(第3回) 20 全学図書系係長会議 27 電子ジャーナル等検討専門委員会 会専門部会(第4回) 27 寄贈による古書・文書等評価委員会	9 教育学習支援検討特別委員会実践事例普遍化小委員会(筑波大学東京キャンパス文京校舎)
2	第2回文系合同図書室運営委員会(書面回議)	7 第25回記録資料館運営委員会	10 第3回運営委員会(書面回議)	22 大型図書資料選定委員会(第3回)	1 熊本大学附属図書館中央館リニューアルオープン記念式典(熊本大学) 24 国立大学図書館協会総務委員会・人材委員会・秋季理事会・図書系専門試験委員会・国立七大学附属図書館事務部長懇談会(北海道大学)(～25日) 31 九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議(福岡教育大学)
16	第5回文学部図書委員会				
31	QBS認証評価視察				
31	法科大学院認証評価視察				
				13 電子ジャーナル等検討専門委員会 (第2回)	1 九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議(福岡教育大学)
6	第4回経済研究室委員会			13 電子ジャーナル等検討専門委員会 (第3回) 18 館長会議 18 第212回附属図書館商議委員会	5 「大学学習資源利用モデル研究会」全体会(DNP五反田ビル)
15	第6回文学部図書委員会		24 第4回運営委員会		20 RU11電子ジャーナル海外調査委員会ミーティング(京都大学東京オフィス) 27 教育学習支援検討特別委員会実践事例普遍化小委員会(筑波大学東京キャンパス文京校舎)
3	第3回文系合同図書室運営委員会(書面回議)		18 第5回運営委員会 20 講演会「Web学習システム(学習管理システム)を利用した教育実践」(全学FD)		
6	第5回経済研究室委員会				
28	文系合同図書室第2窓口閉室		20 第6回運営委員会	18 館長会議 18 第213回附属図書館商議委員会	7 日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画拠点連携委員会(第2回)(主婦会館) 12 教育学習支援検討特別委員会(名古屋大学)

平成26(2014)年6月発行

編集発行 九州大学附属図書館  
〒812-8581 福岡市東区箱崎6丁目10番1号  
TEL(092)642-4264 (図書館企画課企画係)

印刷 城島印刷株式会社

<http://www.lib.kyushu-u.ac.jp>

